

しゃかいふくしほうじんむさし 社会福祉法人六三四

六三四たより



社会福祉法人 六三四 法人本部 〒187-0042 東京都小平市仲町364番地1

TEL 042-343-1895 FAX 042-346-0283 e-mail musashi@musashi1895.jp HP-URL <https://musashi1895.jp/>

事業所一覧

地域支援部 生活介護事業

- 生活リハビリセンター六三四
- 生活リハビリセンター雅
- 生活リハビリセンター絆

生活支援部 共同生活援助事業

- 六三四ホーム
- 青粋ケアホーム・彩ケアホーム
- お結び（短期入所）

相談支援部

計画相談支援 障害児相談支援 事業

- スカイサポートセンター

賀正

社会福祉法人 六三四 理事長 山口 明

新しい年を迎え、皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

私は最近世の情勢の急激な変化について行けず、つくづく寄る年波を感じます。

ただ、私でも分かることはコロナと戦争、気候変動が貧しい人・国、弱い人々、若年・高齢層により過酷な影響を与えるという、現社会の矛盾を露呈してしまったことです。USAでは医療保険制度未確立もあって、NYやカリフォルニアなどの非白人層を中心に貧しい人々がコロナの直撃を受けてます。環境問題にしても、CO2排出量は大金持ち上位1%の階層が排出量15%を占め、貧しい下層50%のそれは世界の7%だそうです。大金持ちがエネルギーを独占し環境を悪化させているとも言える一現象です。我が国でも戦争を利用し、軍事費を5年間で43兆円と大幅に増やし、社会保障費の削減を進めています。後期高齢者医療の窓口負担を2倍、介護保険も利用料を1割から2割にしようと言ってます。

私は、環境、空気や水、医療、教育、農業などは住民の「共有財産」で、今の日本では住民参加による「共有財産」の共同管理の方向が必要だと思います。無責任な資本主義制度にお任せするわけにはいかないと感じています。そして、日本の基幹産業に「食と農」「医」「防災」を産業として開発し、デジタル産業・AIなどと肩を並べて重要視して研究に力を注ぐ必要があると思います。

今年も、現状の困難に取り組み、将来の地域社会の方向を一緒に考えていきましょう。

忘年会

生活リハビリセンター六三四・雅・絆では12月17日に忘年会を行いました。昼食は各施設で仕出し弁当とオードブルのご提供をしました。

1) 生活リハビリセンター六三四では利用者様と職員でクリスマスソングの合唱、職員がトナカイなどの着ぐるみを着てダンスを踊るなど大盛り上がりでした。その後は、ビンゴ大会。利用者様はビンゴの景品を楽しみに参加し「ビンゴ!!」「リーチ!!」などの声が飛び交い楽しい企画となりました。

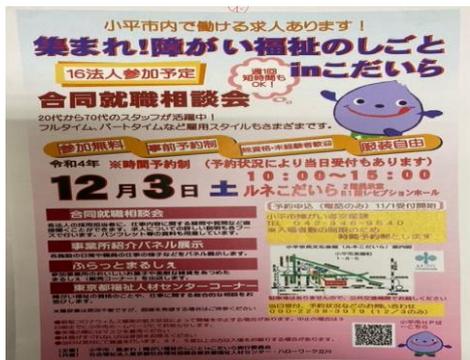
2) 生活リハビリセンター雅では職員がピアノ・クラリネットで「未来へ」を演奏し利用者様と一緒に歌を歌いました。当日まで猛練習を重ね、各施設へ利用者様が招待状を送付し、みんなに見守られるなか、緊張しながら発表会が行われました。その後、カラオケ大会を行い、利用者様が好きな曲を歌い楽しい忘年会となりました。

3) 生活リハビリセンター絆では、日中活動のなかでボーリングのピンや輪投げ用の輪を作成し、その道具を使いゲーム大会を行いました。ボーリング大会ではストライクが沢山出て普段見られない明るい表情などが見られました。輪投げ大会では沢山の利用者様に参加していただき、とても盛り上がる事が出来ました。その後は事前に練習していたダンスを音楽に合わせて踊り皆、練習の成果が出ており、笑顔で踊っている姿も見られ大成功のなか幕を閉じました。



お仕事相談会

令和4年12月3日(土)ルネこだいらにて開催された合同就職相談会「集まれ障がい福祉のしごとinこだいら」に参加させていただきました。六三四を含む市内の15法人が参加し、パネル展示・スクリーン等で事業所の紹介がなされ、その場で面接をすることができる内容の人材確保の大切な機会となりました。当日は76名の方が来場され、各ブースを回りそれぞれの法人の特色やパネルをご観覧いただきました。人材確保のみならず他法人の宣伝方法を拝見して参考にすることができ法人が一同に集う外部交流としての貴重な機会となりました。今回、2回目の開催ということもあり、準備等は円滑に行えましたが人流の観点から課題も見受けられ、次回の宿題となりました。このようなイベントに積極的に参加することで「ここで働きたい」と選択していただける法人となるよう職員一同さらに邁進してまいります。主催者の皆様、ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。今後とも共に地域社会をより良くして行ければ幸いです。



令和4年度 入職 職員紹介

六三四
 4月 河野 久美子
 5月 宮良 聡
 6月 上原 咲
 12月 中田 七海
 12月 飯田 園美

みやび 雅
 5月 やまぎし 山岸 葵
 しょうだ 荘田 七海
 6月 おおき 大木 忠三
 12月 とりやま 鳥山 諭志

きずな 絆
 4月 かなや 金谷 リリ子
 たかす 高須 一美
 7月 うちの 内野 豊
 9月 ひの 樋野 雅之

六三四ホーム
 4月 のぐち 野口 泰世
 10月 おか 岡 龍澄

職員からの一言

六三四
 河野 久美子
 利用者様に寄り添ってこれからも精進し、頑張っていきたいと思ひます。

六三四
 宮良 聡
 勤務するようになって早半年が過ぎ、利用者様の顔や名前が分かるようになってきました。これからも日々努力をし、利用者様の笑顔を見れるようにしていきたいです

みやび 雅
 荘田 七海
 働いていくうちに利用者様との距離も縮まり、感謝や笑顔のおかげで日々のやりがいを感じています。これからも笑顔が絶えないみやびにしていきたいです。

みやび 雅
 山岸 葵
 利用者様と少しずつ信頼関係が築けている喜びも感じています。まだまだですが、自分らしく楽しんで学んでいきたいと思ひます。

きずな 絆
 内野 豊
 絆では、利用者様の方々が一生懸命に取り組む姿にとても感心しています。これからも皆さんが安心して活動ができるように支援していきたいと思ひます。

きずな 絆
 高須 一美
 穏やかで楽しい雰囲気の中で一人一人の利用者様に寄り添った支援を心掛けて行けるように頑張ります。

きずな 絆
 金谷 リリ子
 利用者様が楽しく、有意義な時間を過ごせるよう支援をさせていただきたいと思ひます。

寄贈

今回、東京善意銀行様を通じてNTTコムエンジニアリング株式会社様より災害備蓄品をご寄贈頂きました。各施設、緊急時や災害時の備えとして、大切に保管して使用させていただきます。緊急時には、物資調達の困難が予想されるため、貴重なご寄贈、誠にありがとうございます。一般社団法人日本自動車販売協会連合会 東京支部様より絵本『ありがとうくまのおいしゃさん』5冊をご寄贈頂きました。頂いた絵本は日中活動に使用させていただきます。一般社団法人親切会より会議用机・椅子をご寄贈頂きました。会議や事務用品として使用させていただきます。NTTコムエンジニアリング株式会社様・一般社団法人日本自動車販売協会連合会 東京支部様 一般社団法人親切会様貴重なご寄贈誠にありがとうございます。



利用者様インタビュー

今回、六三四ホーム 青粋ケアホーム（共同生活援助事業）

スカイサポートセンター（特定計画相談・障害児相談支援事業）をご利用されているお二方にお話を伺わせていただきました。

男性利用者 N・H様（平成26年より入所）

Q) 青粋ケアホームに入居するきっかけは何でしたか？

A) 「当時、自分が自立した生活を考えていたけど日中通っていた作業所での紹介と自分の気持ちとのタイミングが合い入居を決めたんだよ」

Q) 実際に入居されご自身に変化は、ありましたか？

A) 「自分のことを自分で行うことに意識するようになり、あと大きく変わったと感じるのは以前、人見知りとか自分の殻に閉じこもっていたような気がするけど、色々な人たちと関わっていく中で、その人たちの目線に合わせて話す事が出来るようになったと感じるかな、社交的になったかな時間はかかったけどね」

Q) 日々の生活で悩みや困ったことの相談は出来ていますか？

A) 「計画相談の方は、ざっくばらんに話せて他愛のない事も言えるので気軽に相談できるかな、生活の安定を支えてくれてると感じるよ」

女性利用者 O・N様（平成26年より入所）

Q) 青粋ケアホームに入居するきっかけは何でしたか？

A) 「家族が探してくれて、私も見学した時にキレイだなと思ったのと職員の方たちの感じが良くて入居しました。自分との相性が良いなとすごく感じた事を覚えています」

Q) 実際に入居されご自身に変化は、ありましたか？

A) 「他の利用者さんや職員と、お話しが沢山できてとても楽しいし自分では明るくなったと思います。以前に比べると何をやるにも気持ちが前向きに取り組めるようになったと感じますね」

Q) 日々の生活で悩みや困ったことの相談は出来ていますか？

A) 「計画相談の方がとても相談しやすく話しやすいですよ、困ったことがあると直ぐに対応してくれて助かっています。毎年、年末年始のスケジュールの対応等もしてくれて私の要望も汲んでくれてると思いますよ」

インタビューさせていただいて

今回、青粋ケアホームの当初から利用してくださっているお二方よりお話を伺わせていただきました。

とても貴重なお声を聞かせていただき大変嬉しく思いました。改めて、これからは利用して下さっている皆様に、より満足していただける環境を法人全体でつくり続けていきたいと切に感じております。

今回インタビューに快くご協力いただきましたお二方の利用者様本当にありがとうございました。

今後の予定

2月7日（火）	メンバー懇談会（雅）	3月24日（金）	桜ドライブ（絆）
2月10日（金）	メンバー懇談会（六三四、絆）	3月27日（月）～ 3月31日（金）まで（六三四・雅）	お花見週間
2月17日（金）	お楽しみ会（六三四、雅、絆）	3月28日（火）	桜ドライブ（絆）
2月23日（木）	天皇誕生日・開所日（六三四、雅、絆）	3月30日（木）	桜ドライブ（絆）
3月10日（金）	メンバー懇談会（六三四、雅、絆）	4月25日（火）	六三四たより発行
3月21日（火）	春分の日・開所日（六三四、雅、絆）		

まいしゅうげつ すい もくようび
（毎週月・水・木曜日）
まいしゅうげつ きんようび
（毎週月～金曜日）
まいしゅうげつ きんようび
（毎週月～金曜日）

こべつりがくくんれん てらだ
個別理学訓練（寺田PT）
こべつげんごくくんれん なるみ
個別言語訓練（鳴海ST）
こべつきのうくんれん ま
個別機能訓練（井上あん摩マッサージ師）

編集後記

せいかつ みやび やざき かつゆき
生活りハビリセンター 雅 矢崎 克幸

今回、六三四たよりの作成にご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。今回、六三四たよりに携わって社会福祉法人六三四は地域や社会との連携により支えられていると実感し、自分もこれからは地域に根付いた社会福祉法人六三四をもっと広めていき、たくさんの人たちに知ってもらえるよう地域貢献など多くの情報を発信するために改めて考える機会となりました。また、職員の一言では様々な利用者様への思いや、やりがいを感じながら日々の支援をしている事が分かり、自分も初心の気持ちを思い出す事が出来、未経験で入職した時と今の自分と比較し自分を見つめ直す事が出来ました。まだまだ不慣れではありますが、皆様に読みやすく伝わりやすい六三四たよりになるよう努力してまいりますのでよろしくお願い致します。最後まで、お読み頂きありがとうございました。

